

柏原市立歴史資料館 平成二五年度春季企画展

柏原偉人伝

武田慎治郎

「高井田における社会事業の実践」



平成 26 年 3 月 29 日 (土)
～ 6 月 15 日 (日)

月曜休館 (5 月 5 日は開館)
9 時 30 分～16 時 30 分 入館無料

柏原市立歴史資料館

大阪府柏原市高井田 1598-1 (072-976-3430)
JR 関西本線「高井田」北へ徒歩 5 分
近鉄大阪線「河内国分」北へ徒歩 15 分

★講演会 4 月 26 日 (土) 13 時 30 分 ～ 15 時
「武田慎治郎と武田塾 その先進性に着目する」
藤原正範氏 (鈴鹿医療科学大学 教授)

★上映会 4 月 5 日 (土)・5 月 31 日 (土) 14～15 時
武田塾所蔵の映像資料の上映と解説

講演会・上映会ともに無料 申込不要 定員 90 名

★横穴特別公開 5 月 17 日 (土) 10 時 ～ 15 時



柏原市市民歴史クラブによる
塾舎本館復元模型を展示

【開催にあたって】

今から約 15 年前まで、JR 関西本線高井田駅のすぐ近くに、木造 2 階建ての大きな洋館風建物があつたのをご記憶でしょうか。社会事業家・武田慎治郎が私財を投じて設立した児童養護施設「武田塾」の本館建物です。

武田慎治郎は明治元(1868)年、福井県生まれ。大阪府警察時代に貧困や福祉等の問題に関わつたことをきっかけに、その後の半生を社会事業に捧げることとなりました。

武田塾所蔵資料を通じて、武田が高井田の地で実践した社会事業の一端にふれるとともに、木造塾舎や当時の生活用品などから「まちの記憶」をよみがえらせる機会になれば幸いです。

【武田慎治郎の理念と実践】

武田塾は、武田慎治郎が理想とした「小規模な家庭的施設における感化教育」の実践の場であり、家庭での環境を重視した考えのもとで子どもたちと生活を共にしていきます。また身体の訓練が主な目的である修養生の受け入れ、農繁期における保育部の開設、私立小学校の設置等、地域の子どもを対象とした事業にも着手しました。

さらに高井田地区の地域住民とのつながりを目的として、創設後いくつかの建物を増設し、児童養護だけでなく地域の福祉についても重要視していきます。公的な福祉事業の考え方や実態が成熟していなかった時代において、武田の理念と実践は先見性に富むものと言えるでしょう。



慎治郎・ヒサ・伊藤さし



食事の様子



自習の様子



農繁期保育所

【慎治郎と塾の略歴】

明治元(1868)年 9月 22日

福井県丹生郡島寺村

(現福井市)に生まれる

明治 27(1894)年 熱田ヒサと結婚

大正 2(1913)年 11月 修徳館館長就任

大正 12(1923)年 5月 修徳館、柏原に移転

大正 15(1926)年 10月 武田塾本館完成

大正 15(1926)年 11月 4日 武田塾創立

昭和 2(1927)年 5月 修徳館館長退職

昭和 8(1933)年 10月 厚生館(本館西隣)完成

昭和 11(1936)年 4月 積善館(本館北隣)完成

昭和 14(1939)年 11月 6日 ヒサ死去

昭和 15(1940)年 2月 26日 慎治郎死去

平成 11(1999)年 8月 現在地に移転

【思い出の木造塾舎】

武田塾内にかつてあつた木造建物は本館、厚生館、積善館、分校の 4 棟です。その中でも特に目立つ存在であつたのは洋館風の本館建物でしょう。武田塾創設に合わせ大正 15(1926)年 5月に建築が始まり、同年 10月に完成しました。木造スレート葺き 2 階建ての壁は下見板をめぐらせ、建物の正面には整然と大きな窓が並んでいます。各部屋は 1 階は洋室、2 階は和風を基調としています。

建築費は当時の額で 16,790 円 77 銭を要したとの記録が残っています。今の時代では約 2 億円になるでしょうか。